



みんなで作ろう!

新市民体育館・新荒川公園

ワークショップ



日時 | 2026年1月31日 (土) 14:00~17:00
場所 | 男女共同参画センター「ハートピア」会議室

※記録のため写真撮影を行います。NGの方はお近くのスタッフまでご連絡ください



開会あいさつ

- 本日の進め方

本日の進め方

日時 | 2026年1月31日 (土) 14:00~17:00

場所 | 男女共同参画センター「ハートピア」会議室

- 1 開会あいさつ・本日の進め方
- 2 第1回の振り返り・検討状況説明
 - ・ 第1回のワークショップの振り返り
 - ・ 検討状況説明（コンセプト案、モデル比較検討案）
- 3 グループワーク
 - ・ 検討状況説明を踏まえた意見交換
- 4 発表・まとめ

ワークショップ開催の趣旨

熊谷市では、熊谷市立市民体育館や、隣接する荒川公園等を再整備するにあたり、整備の目的、求められる機能、整備計画の条件等を整理し、基本計画としてとりまとめることとしています。

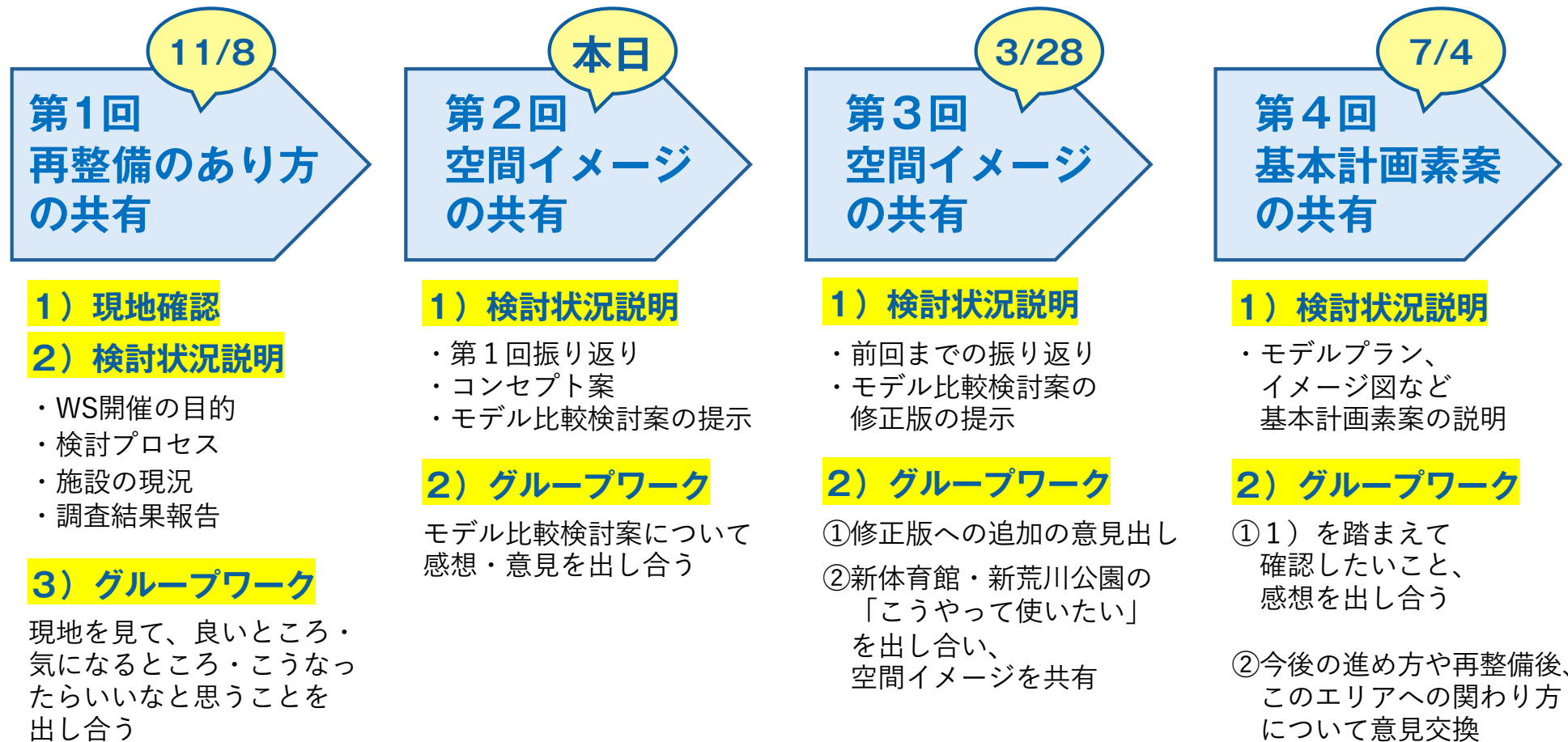
今年度から、より多くの市民の声を反映するためワークショップを全4回行います。

本日はその2回目となります。

ワークショップ4回の流れ

※ワークショップの内容は今後変更の可能性があります。

ワークショップは、2026年7月までに4回継続して実施します。各回、前半に「検討状況説明」として進捗共有を行い、後半のグループワークでご意見を伺う時間を設けます。各回でいただいたご意見をもとに、「基本計画素案」に生かします。





第1回の振り返り

- ・ 検討状況説明

1) 第1回の振り返り

第1回ワークショップの目的と位置付け

初回となる第1回ワークショップでは、コンセプト案やモデル比較検討案を始め、基本計画に活かすことを目的として現地確認や検討状況説明、意見交換を実施しました。

開催概要

開催日時 2025年11月8日(土)
13:00~17:15頃

参加人数 48名

開催場所 荒川公園・市民体育館
及びハートピア会議室

プログラム

- 1 **現地確認** (荒川公園、市民体育館の現況確認)
- 2 **ワークショップ開催の目的及び現況説明** (開催趣旨説明/ WS開催の目的、検討プロセスについて/施設の現況、調査結果の説明)
- 3 **グループワーク** (現地をみて、良いところ・気になるところ・こうなるといいなと思うところを出し合おう)
- 4 **発表・まとめ**

第1回ワークショップの様子

第1回ワークショップでは、実際に現地確認をした後、今の公園・市民体育館や、対象エリア全体について良いところ、気になるところ、こうなるといいなの3つを書いて出しました



いただいた主なご意見

エリア全体

good! 良いところ

- 駅から近く平坦、直線の道でアクセスできる
- 静かで落ち着いた文化的な住環境
- 公共施設が集積しており、様々な目的で人が来るエリア
- 公園と土手のみどりがまとまっていると良い



Hmm... 気になるところ

- 駅から公園までの一体的な賑わいや施設間の連携が作られていない
- 道路が狭く混雑したり、今以上の広がりがない
- 車移動が多い割に駐車場が少ない
- 公園、体育館ともに防災機能が必要ではないか



Hope こうなるといいなと思うところ

- 駅から公園までを一体的に整備して熊谷の目玉となるような楽しいエリアになると良い
- イベント時にもゆったりと歩ける道ができ、周辺道路の混雑も解消されると良い
- 相互連携が可能な施設を計画してほしい



いただいた主なご意見

荒川公園

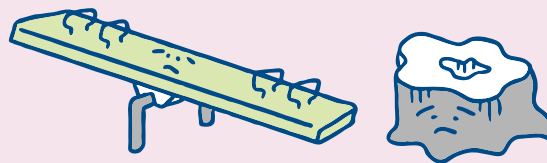
good! 良いところ

- 美しい樹木や自然を感じられる
- 風の道があり、見事な大木のおかげで涼しい
- 花火、桜、夕日など四季折々の景色が良く癒される
- こどもから高齢者まで楽しめる



Hmm.. 気になるところ

- 遊具や施設が古くあまり使われていない
- 木々の元気がないところ
- 管理が大変そうな木が多い
- 慰霊塔は大切だが配置場所や暗い雰囲気など危険を感じる



Hope こうなるといいなと思うところ

- 今の良いところを生かし、丁寧な管理で豊富なみどりを維持してほしい
- 雨宿りや木陰で涼めるような場所があると良い
- 芝生などで寝転んだりくつろげるようになると良い
- 暑さ対策も兼ねて水に触れられる設備があると良い



いただいた主なご意見

市民体育館

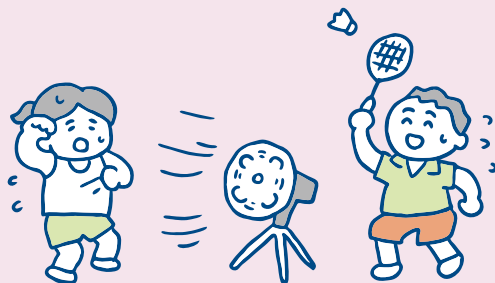
good! 良いところ

- 駅から近く学生や市外の人など、どのような人にとってもアクセスが良い
- こどもの健全な育成につながる場になっている
- 地域の人が使える体育館であるところ
- 市内の体育館の中では観客席が多い



Hmm.. 気になるところ

- 器具、設備、施設全般が古くて使いづらい
- 駐車場が狭く車で来た際に不便
- 収益性や稼働率が低い
- 利用料金が高い



Hope こうなるといいなと思うところ

- 空調完備で安全にスポーツができるようになると良い
- ホールやカフェなど子連れでゆっくり待てる場所など多目的に使えると良い
- 若者の意見を反映した計画になり、こどもが利用しやすく笑顔がいっぱいある場になってほしい
- スポーツだけでなく日常的に安く利用できるようにして利用率を上げられると良い

第1回ワークショップで出た意見のまとめ

良いところ

エリア全体 駅からのアクセス性の良さ／落ち着いた住環境／公共施設の集積 など

公園 四季を楽しめる／木陰や風の道があり涼しい／イベントでの憩いの場としての価値

市民体育館 駅から近くアクセスしやすい立地／こどもの健全な育成につながる場である

気になるところ

エリア全体 道路の混雑・歩きにくさ／駅から川に抜けるまでのエリアの賑わい不足

公園 全体的な設備・器具の老朽化／樹木の衰退／舗装による寛ぎにくさ

市民体育館 施設全般の老朽化／駐車場の規模／観客席の少なさ／利用料金／立地への心配

こうなると良いな

エリア全体 施設間の相互連携／一体的な賑わい創出／歩きやすい歩道整備

公園 現公園の良さを生かした豊かなみどり／暑さ対策／親水空間／くつろげる空間づくり

市民体育館 空調完備／多目的利用／次世代が楽しく使える

※施設規模現状維持・規模拡大・重層化など多様な意見あり

以上の寄せられたご意見を踏まえ、今回のモデル比較検討案をお示しします。

2) 検討状況説明

本日お伝えする調査・検討内容

1. 調査結果報告

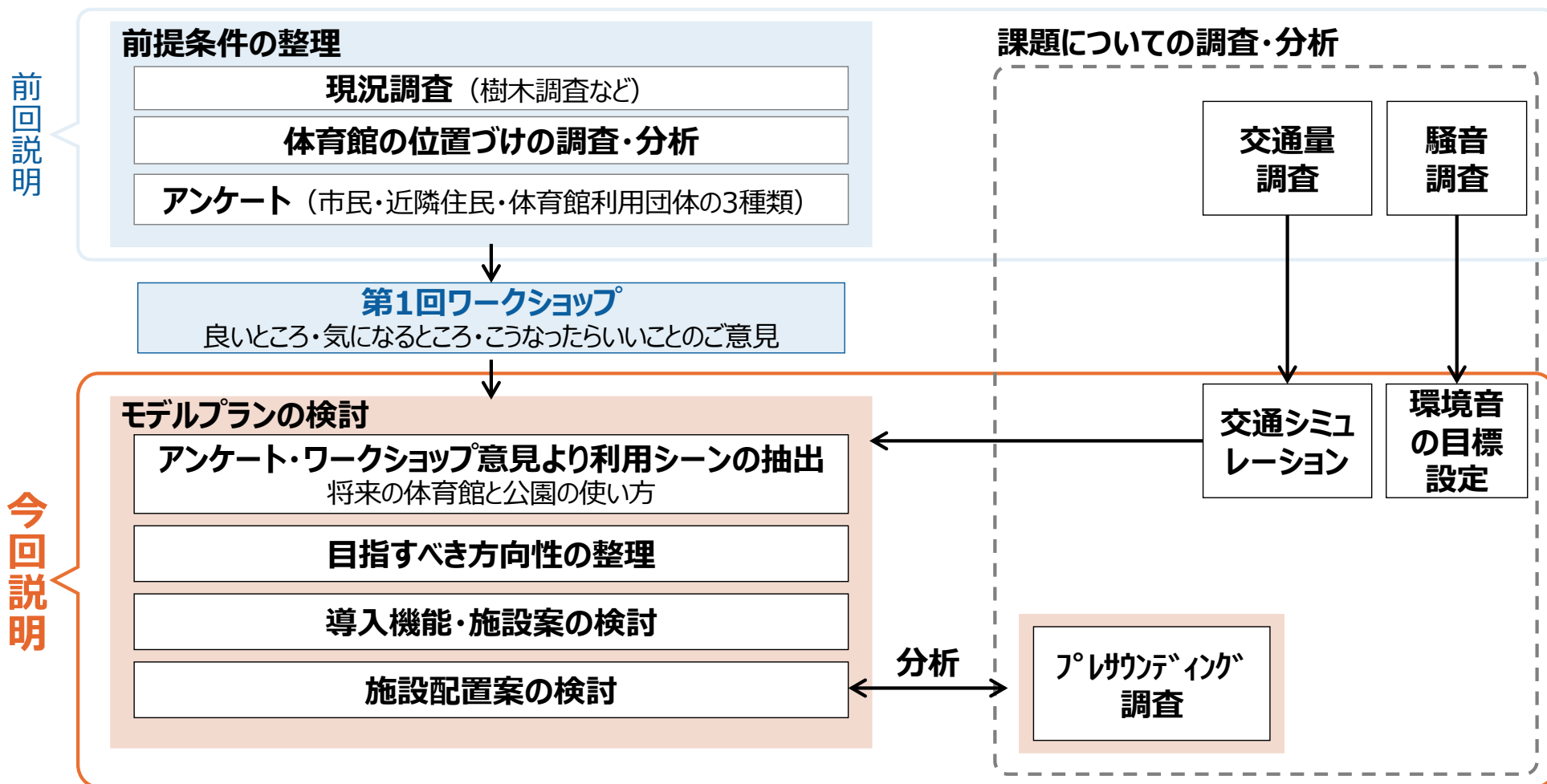
- 騒音調査
- 交通量調査
- 前回資料の補足説明

2. モデルプランの検討について

- 利用シーンの抽出
- 目指すべき方向性の整理
- 導入機能・施設案の検討
- 施設配置案の検討
- プレサウンディング調査

本日お伝えする調査・検討内容

アンケートとワークショップでいただいた市民の皆様のご意見を踏まえた新しい体育館・公園のモデルプランの検討状況をご説明します。



1. 調査結果報告 - 騒音調査

新しく施設が
整備されると
うるさくなるの？



目的・方法

- ① 現況の市民体育館における騒音の状況を調査
- ② 新施設に類似する施設（類似施設）における騒音の状況を調査
- ③ 調査結果を参考に、新施設における目標を設定
- ④ 上記目標値を満足するような施設計画（対策）を検討

今回
WS

結果

- ・ イベント時は、屋内・屋外の両地点で騒音レベルが上昇した。
 - ・ しかし、現施設でも施設外壁の防音効果により、イベント時の屋外の騒音レベル（54dB）は、環境基準値（55dB※）を下回る数値であった。
- ※本基準値はイベント時を対象とした基準値ではなく一般的な環境（平常時）に適用される値

▶ 目標：新施設は現況と同程度の騒音環境となるような施設計画を検討

① 市民体育館（来場者数：1,093人）

	等価騒音レベル (dB)	
	屋内	屋外
イベント前	46	46
イベント時	80	54

② 〈参考〉類似施設（来場者数：3,094人）

	等価騒音レベル (dB)	
	屋内※	屋外
イベント前	51	47
イベント時	54	49

1. 調査結果報告 - 騒音調査

調査概要

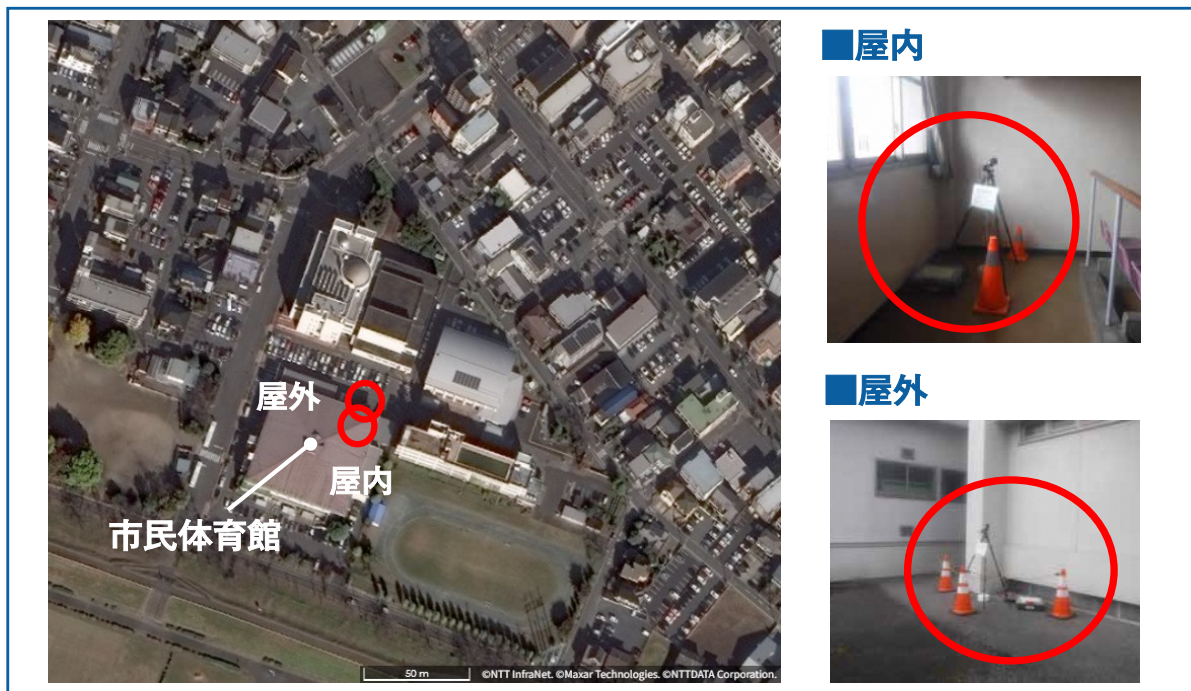
① 現況調査

- 実施日時 : 10/25(土)
- 対象イベント : プロレスリング
(SUPER Jr. TAG LEAGUE 2025)
- 対象施設 : 熊谷市立市民体育館

② 〈参考〉 類似施設調査

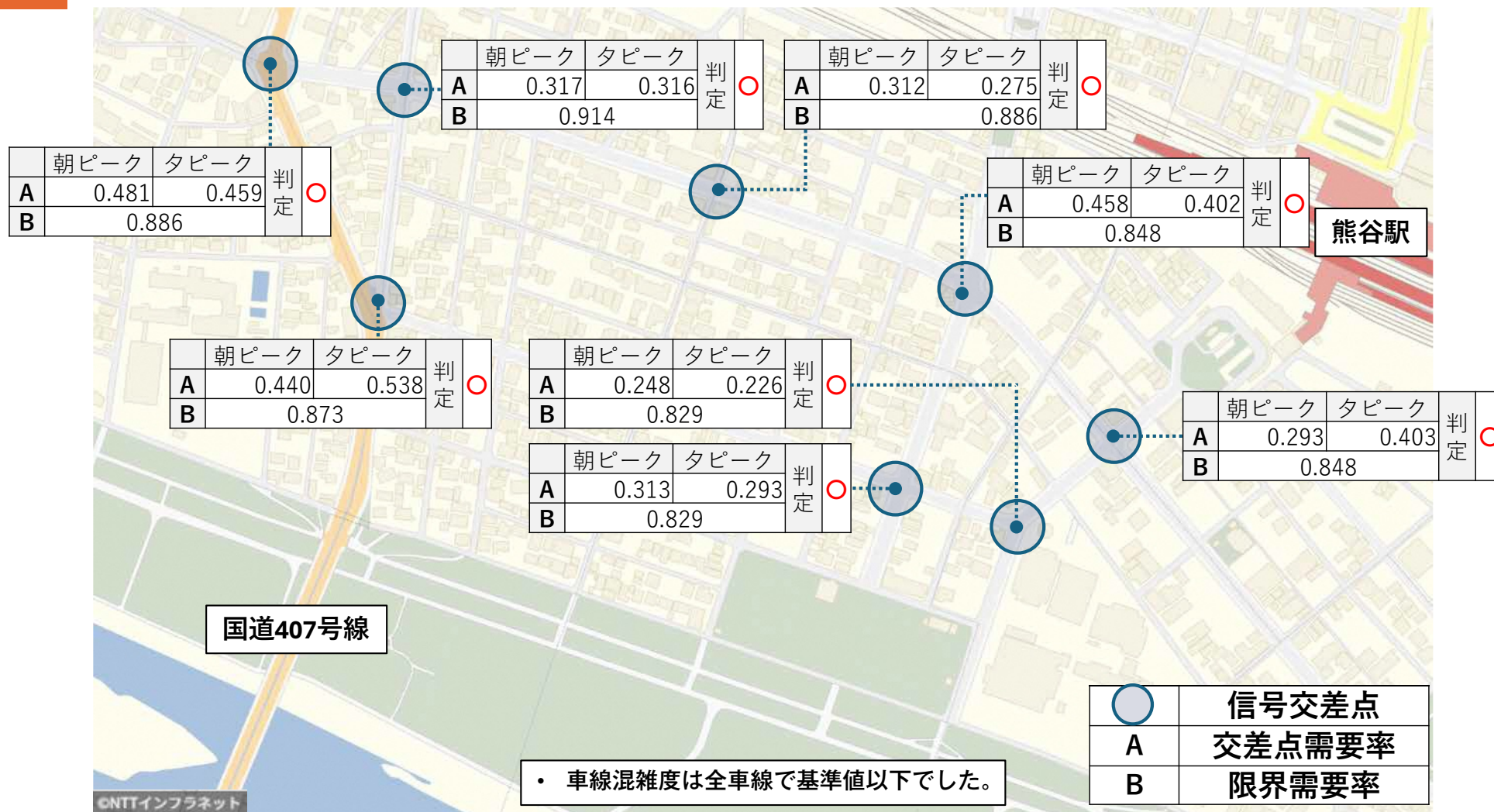
- 実施日時 : 6/28(土)
- 対象イベント : プロバスケット
(B.LEAGUE GLOBAL INVITATIONAL 2025
B.LEAGUE UNITED vs AUS NBL(NBL 選抜))
- 対象施設 : オープンハウスアリーナ太田

現況調査地点



1. 調査結果報告 - 交通量調査

- 結果**
- 新施設の整備により周辺交差点で新たに渋滞は発生しない
 - 一部交差点で滞留が発生する可能性があるため入出庫動線の誘導を検討する必要がある



1. 調査結果報告 - 交通量調査

新しく施設が
整備されると
周辺が
より混雑するの？

周辺の交通環境への影響を検討するため、
過年度に実施した交通量調査に加え、本年度も追加調査を実施



方法：①荒川公園・市民体育館周辺の交通量の調査

今回
WS

②過去調査の内容と合わせて1日の交通量・ピーク時の交通量を整理

③調査結果から新施設が整備された場合の周辺交差点への影響を検証

調査時期：

[過去調査]

■調査日時

- ・ 平日：2022/10/12 (水)
- ・ 休日：2022/10/16 (日)

■調査時間

- ・ 7:00-19:00 (12時間)

[今年度調査]

■調査日時

- ・ 平日：2025/5/20 (火)
- ・ 休日：2025/5/18 (日)

■調査時間

- ・ 7:00-19:00 (12時間)

調査箇所：

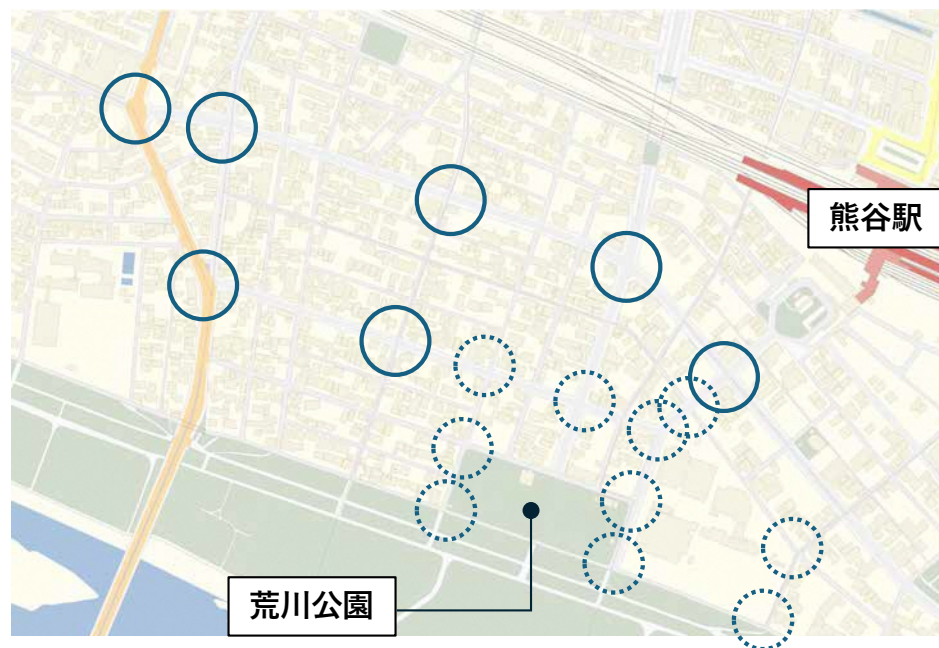
[過去調査]

10箇所



[今年度調査]

7箇所

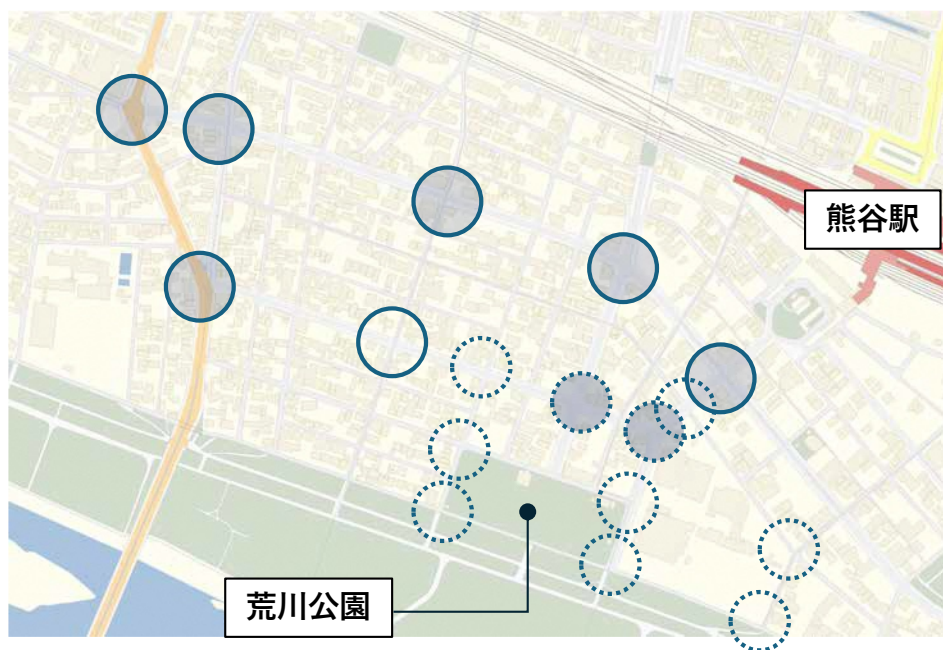


1. 調査結果報告 - 交通量調査

- 影響検証の流れ
- ①新施設の駐車場規模とアクセスするための動線を設定
 - ②交通量調査結果から整理したピーク時間に設定した交通量を上乗せ
 - ③周辺信号交差点で影響を検証（交差点需要率・車線混雑度）

現況：交通量調査で実際に計測した台数：X台

将来：駐車場整備によって周辺交差点で増加する想定交通量：Y台



交差点需要率の判断

交差点全体の混雑状況を示す指標であり、理論上交差点の処理能力（限界需要率）未満であれば、交通を処理できると判断される。

車線混雑度の判断

各車線における混雑度を示す指標であり、理論上1未満であれば、交通を処理できると判断される。

● ● 影響検証を行った信号交差点

1. 調査結果報告 - 交通量調査

現検討案では、駐車場動線は現況と同様に北東IN・OUTで設定しました。駐車場は最大320台程度を想定しています。（大規模イベント時を想定）

※大規模イベント時には関係者のみ駐車場を利用し来場者は公共交通機関の利用を推奨する運用を想定しています。



	新施設	A	B	C	D	E
朝 ピーク	向かう 交通	33	37	20	20	51
	離れる 交通	1	1	1	0	1
夕 ピーク	向かう 交通	7	7	4	4	10
	離れる 交通	29	33	19	18	47

単位：台数

上記数値は現況の交通量調査結果をもとに、ピーク時間にどれほど駐車場へ/からの交通量が発生するかを算出し、どこから来るのか/どこへ向かうかを振り分けています。

1. 調査結果報告 - 交通量調査

全ページで整理した増加する交通量を、現況の交通量（交通量調査結果）に上乘せた結果を整理しています。



単位：台数

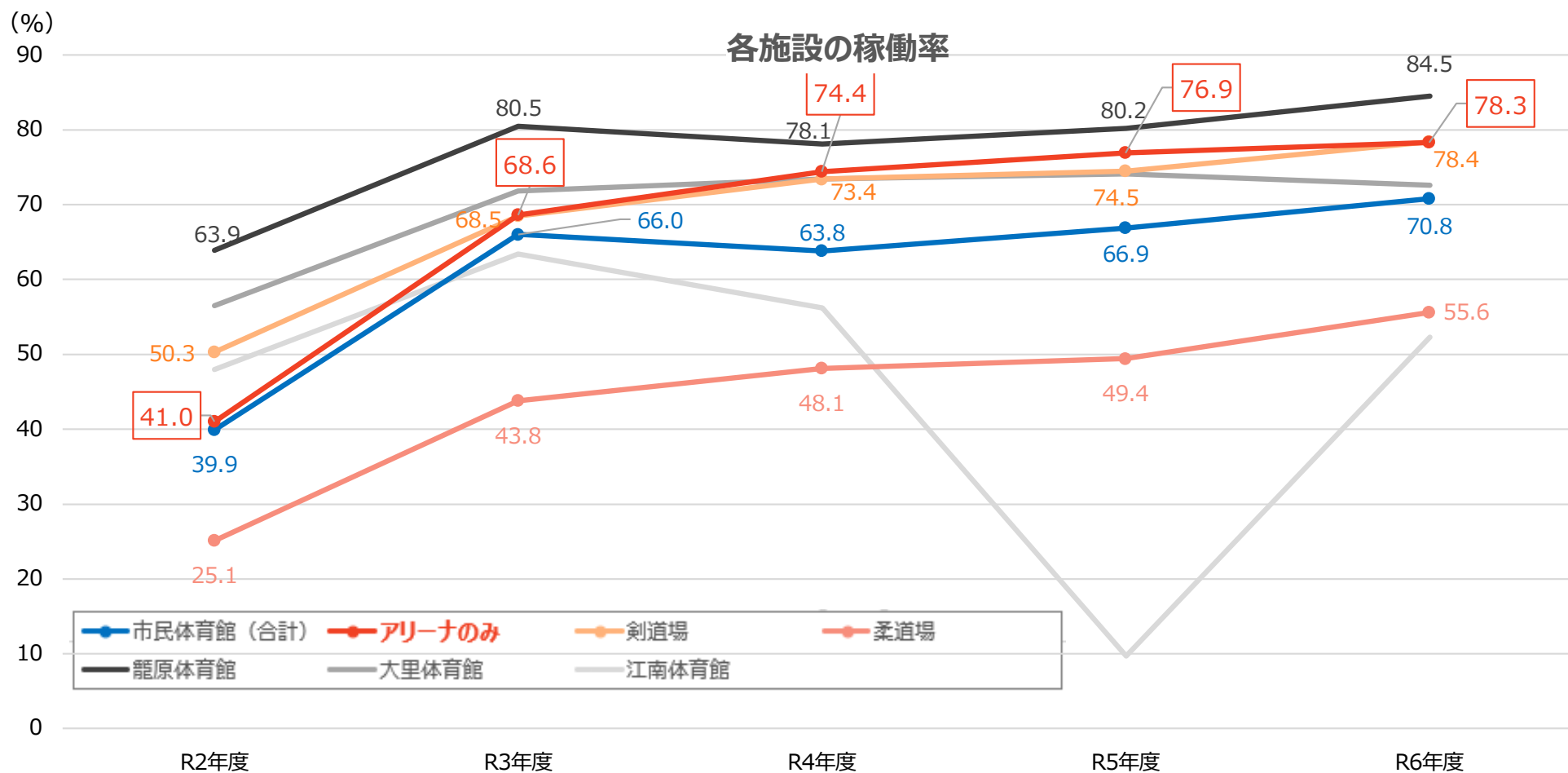
		①	②	③	④	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
朝 ピーク	交通量 (増加数)	1,078 (+34)	1,216 (+38)	876 (+72)	878 (+72)	677 (+21)	920 (+93)	723 (+20)	380 (+113)	400 (+52)	398 (+52)	1,684 (+52)
	増加率	3.3%	3.2%	9.0%	8.9%	3.2%	11.2%	2.8%	42.3%	14.9%	11.5%	3.2%
夕 ピーク	交通量 (増加数)	1,150 (+36)	1,239 (+40)	929 (+76)	936 (+76)	684 (+23)	1,008 (+99)	727 (+3.1)	440 (+121)	457 (+57)	465 (+57)	1,778 (+57)
	増加率	3.2%	3.3%	8.9%	8.8%	3.5%	10.9%	2.8%	37.9%	14.3%	14.0%	3.3%

1. 調査結果報告 - 前回資料の補足説明

Q. 市民体育館の全体の稼働率が低いのはなぜか

→アリーナ・剣道場・柔道場の合計の稼働率を出していたため。

アリーナのみ稼働率は、稼働率が最も高い籠原体育館に近い。



2. モデルプランの検討 - 利用シーンの抽出

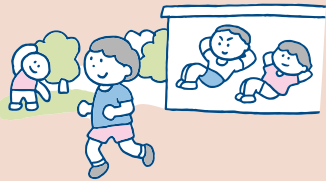
本年度実施したアンケートと前回ワークショップでいただいたご意見を
を基に、将来の体育館・公園の利用シーン（使い方）を整理しました。

共通	①誰もが気軽に 体を動かす 	②居心地の良い空間で くつろぐ 	③みんなで災害に 備える 
体育館	④スポーツ教室に 日常的に参加する 	⑤スポーツ大会に出場 する・サポートする 	⑥スポーツ・イベント をみて楽しむ 
公園	⑦豊かなみどりに 囲まれ自然を感じる 	⑧子どもが のびのびと遊ぶ 	⑨季節感を 楽しむ 

2. モデルプランの検討 - 利用シーンの抽出

利用シーン（共通）

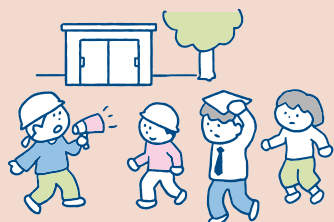
①誰もが気軽に体を動かす



②居心地の良い空間でくつろぐ



③みんなで災害に備える



具体例（WS/アンケートより）

- ラジオ体操などの軽い運動をする
- 駅や川に近い立地を活かして散歩やジョギングで立ち寄る
- 障がい者にも優しい運用にして車いすバスケなどを楽しむ
- 地域住民や子ども、学生、スポーツ団体が日常的に使う
- 夜まで施設を開けて、仕事終わりに運動する
- 健康や気分転換のために運動する
- トレーニング器具を使って鍛える
- 仲間と一緒に楽しく運動する

- 居心地の良いところでおしゃべりをする
- ホールやカフェなど子連れでゆっくり待てる
- 陽射しや雨をよけられる屋根のある空間で子どもを見守る
- 芝生で寝転ぶ

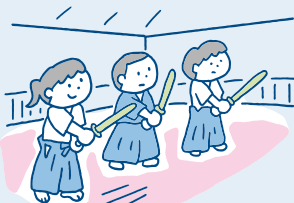
- 公園にも体育館にも防災機能を設置して災害に備える
- 地震や火災があった時に逃げてくる
- 防災グッズ、災害対策用品等の保管する
- 防災機能を備えた駐車場で災害時にも安心して使える

※対象：共通、体育館、公園

2. モデルプランの検討 - 利用シーンの抽出

体育館

④スポーツ教室に日常的に参加する



⑤スポーツ大会に出場する・サポートする



⑥スポーツ・イベントをみて楽しむ



具体例 (WS/アンケートより)

- スポーツ教室やイベントでスポーツに親しむ
- 部活動の練習場所として使う
- 新しいスポーツを体験する

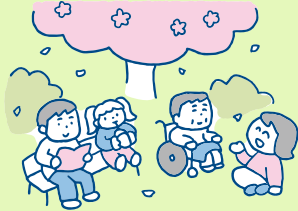
- 試合や大会にプレイヤーとして参加する
- 子どもや仲間の試合を応援する
- 試合や大会に運営側で参加する
- 試合や大会のボランティアとして活動する

- 県大会など大きな大会を観戦する
- プロスポーツの試合を観戦する
- 音楽ライブなどを観覧する

2. モデルプランの検討 - 利用シーンの抽出

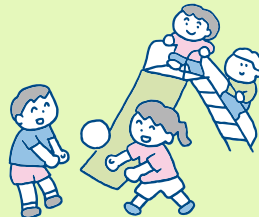
公園

⑦豊かなみどりに 囲まれ自然を感じる



- 自然や木々の美しさを感じる
- たくさんの緑に囲まれて過ごす
- 大きな木の下で涼む
- 将来のために新しい樹を育てる

⑧子どもが のびのびと遊ぶ



- 障がいの有無や年齢に関わらず遊具で遊ぶ
- ボール遊びが自由にできる
- 土、水、木など自然とふれあいながら遊ぶ
- 屋内の遊び場で天候に関わりなく遊ぶ

⑨季節感を楽しむ



- 親水スペースで涼む
- 暑さ対策も兼ねて夏に水遊びをする
- 花火、桜、夕日など四季折々の景色を眺めて癒される
- 広場空間を活かした市民イベントを楽しむ
- 桜祭り、うちわ祭、花火大会の時に公園に立ち寄る

具体例 (WS/アンケートより)

2. モデルプランの検討 - 目指すべき方向性（案）

市民の皆様のご意見より、新しい体育館・公園の目指すべき方向性として「再整備の目標」の案を整理しました。

再整備の目標（案）

- 熊谷駅南エリアの新たな「顔」となり、多様な活動や交流を育む
- 市民とともに豊かな緑を継承し、日常の暮らしを豊かにする
- “する・みる・ささえる”で関われる、市民のスポーツ振興の拠点となる
- 誰もが安心して利用でき、災害時に地域の安全を支える

2. モデルプランの検討 - 施設イメージ (案)

将来の体育館・公園での「利用シーン」を実現するための施設イメージ、ゾーニングを整理しました。

利用シーン	施設イメージ	ゾーニング
①豊かなみどりに囲まれ自然を感じる	芝生広場、木陰、ベンチ・デッキ	憩いゾーン：既存の緑を活かしながら多目的に使える芝生広場を配置
②誰もが気軽に体を動かす	健康遊具、多目的広場	運動ゾーン：屋外での気軽な運動ができる遊具やオープンスペースを配置
③スポーツ教室に日常的に参加する ④スポーツ大会に出場する・サポートする ⑤スポーツ・イベントをみて楽しむ	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、管理室、駐車場・駐輪場	体育館ゾーン：体育館が立地し、主に体育館利用者用向けの駐車場を配置
⑥居心地の良い空間でくつろぐ	共用空間、トイレ、授乳室 エントランス広場 屋根付広場	エントランスゾーン：公園正面入口となり、体育館利用者の滞留空間としても活用 遊びゾーン：幼児から児童まで年齢に合わせた遊具や、水遊び場、屋内遊び場など多様な遊びニーズに対応し、遊び場の近くには見守り・休憩に使える屋根付広場を設置
⑦子どもがのびのびと遊ぶ	遊具、屋内遊び場 親水施設	
⑧季節感を楽しむ	キッチンカー等出店可能な広場、SL展示	交流ゾーン：季節の祭に加え日常イベントなど市民の交流を育む空間を継承
⑨みんなで災害に備える	防災倉庫、広場等	— (全体)

2. モデルプランの検討 - 施設配置 (複数案)

前回のワークショップでは、体育館・駐車場・公園オープンスペースについて、規模の現状維持・拡大・重層化など多様なご意見がありました。これを踏まえ、施設配置を4案検討しました。

【共通方針】

- ・ 熊谷駅南口からアクセスしやすく、体育館入口に近い区域を「エントランスゾーン」とする
- ・ 市役所通りから連続するシンボル性の高い空間である、中央の並木空間を、賑わいの中心となる「交流ゾーン」とする
- ・ 現在の遊び場がある場所を中心に、その機能を継承しつつ、北・西側のエリアを「遊びゾーン」とする
- ・ 体育館との利用の連携を踏まえ、体育館に隣接するエリアを「運動ゾーン」とする (B案を除く)
- ・ 既存樹木に囲まれたオープンスペースが確保できる位置には芝生広場を中心とした「憩いゾーン」とする

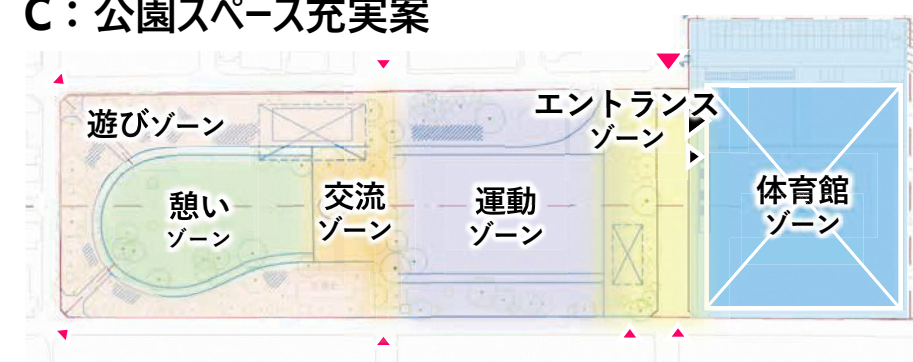
A : 体育館観客席充実案



B : 既存体育館利用継続案



C : 公園スペース充実案



D : コストを抑えた案



A. 体育館観客席充実案

参加者や観客数の多い大規模大会にも対応できるように、観客席数を確保しつつ、公園オープンスペースも確保した配置案。



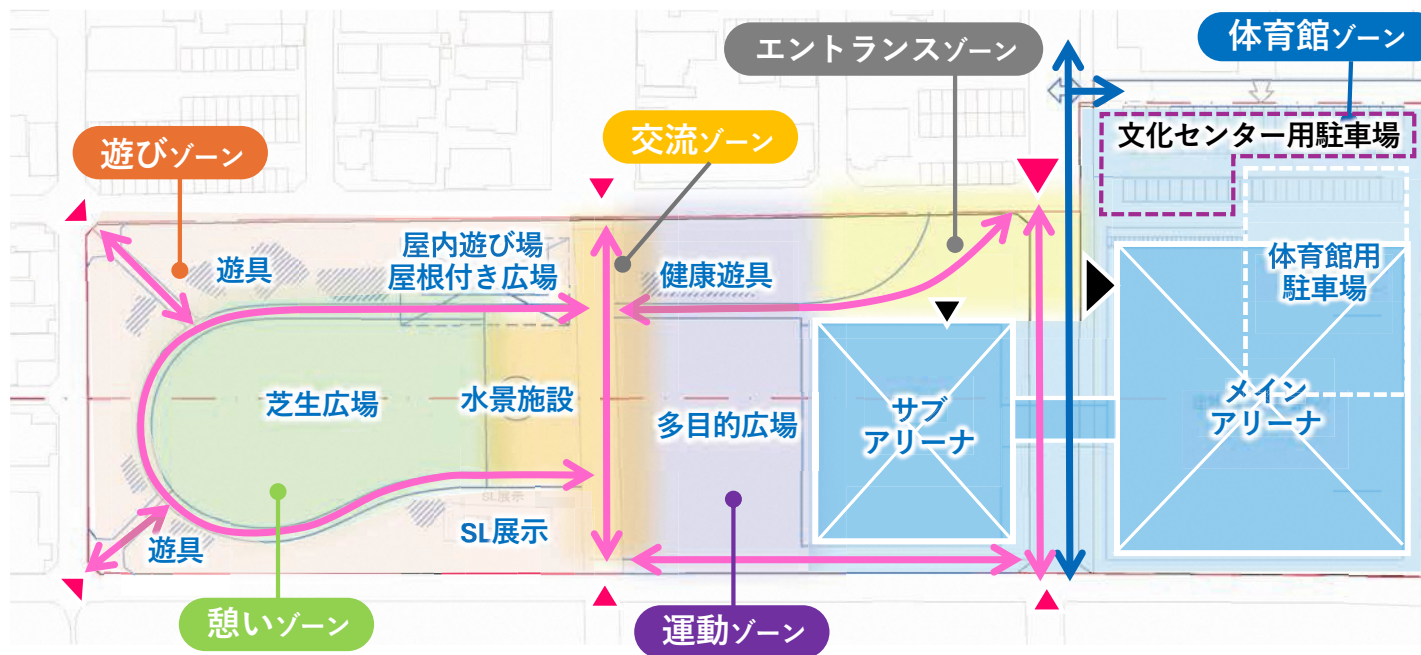
アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、2階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約2,100席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約13,000㎡
体育館建設費	約140億円

【メリット】

- 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい
- メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい
- 体育館と公園利用の連携がしやすい
- メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい

【デメリット】

- メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる
- 公園のオープンスペースがやや少なく既存樹の一部を伐採
- 工事中は既存体育館の利用を継続できない
- メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい
- 分棟のため施設間の移動や搬出入が不便
- メイン・サブの一体利用がしにくい
- 分棟のため、維持管理コストがかかる
- 公園側に建築が立地し圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる



▶メイン入口 ▶サブ入口 ▶建物メイン入口 ▶建物サブ入口 ↔ 歩行者 ↔ 車両



B. 既存体育館利用継続案

A案と同じ観客席数を確保しつつ、メインアリーナを公園側に配置することで既存体育館の利用を継続しながら整備できる案。

アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、1階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約2,100席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約11,000㎡
体育館建設費	約100億円

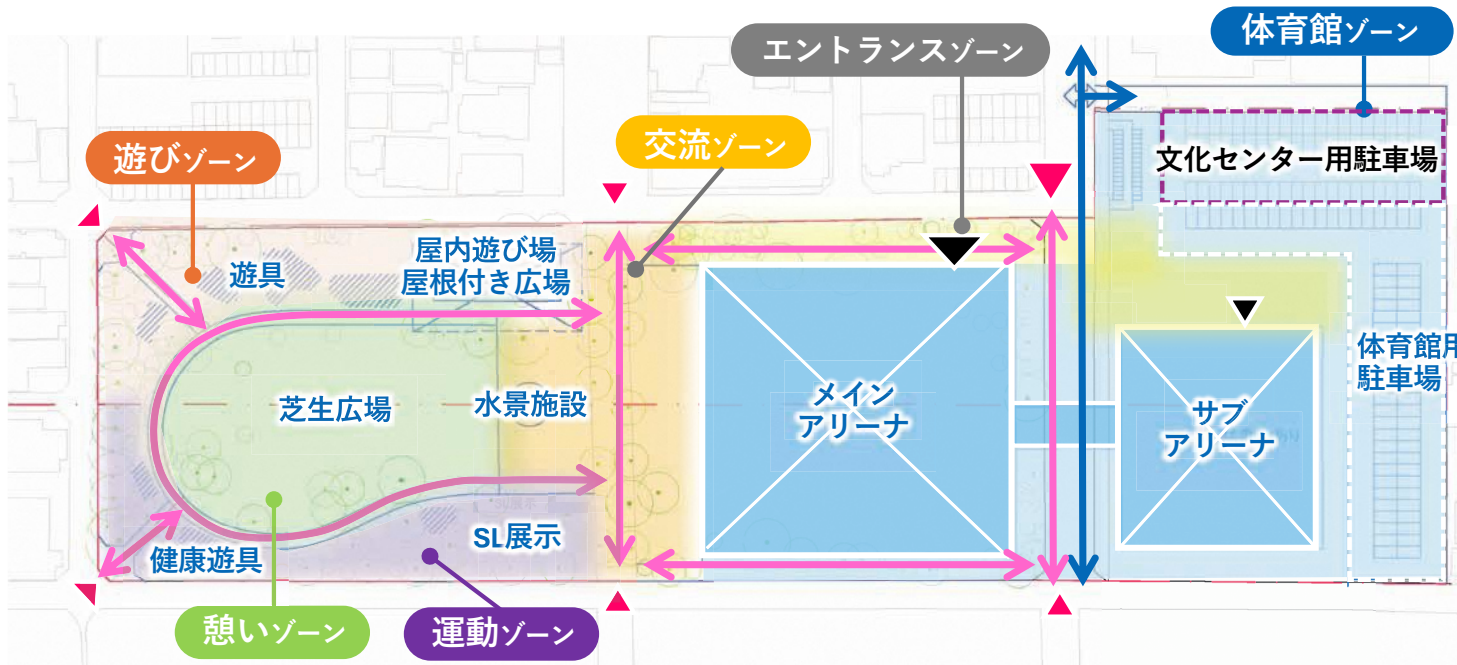


【メリット】

- 既存体育館の利用を継続しながら整備可能
- 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい
- メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい
- 体育館と公園利用の連携がしやすい
- 建物入口付近に滞留空間を確保できる

【デメリット】

- 公園のオープンスペースが最も小さくなり、既存樹の伐採も多い
- 分棟のため施設間の移動や搬出入が不便
- メイン・サブの一体利用がしにくい
- 分棟のため維持管理コストがかかる
- 公園側に建築が立地し、圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる



▶ メイン入口 ▶ サブ入口 ▶ 建物メイン入口 ▶ 建物サブ入口 ↔ 歩行者 ↔ 車両



C. 公園スペース充実案

公園のオープンスペースの継承を重視した配置案。メインアリーナを2階、駐車場を1階とし、建物を現体育館側敷地に集約する。



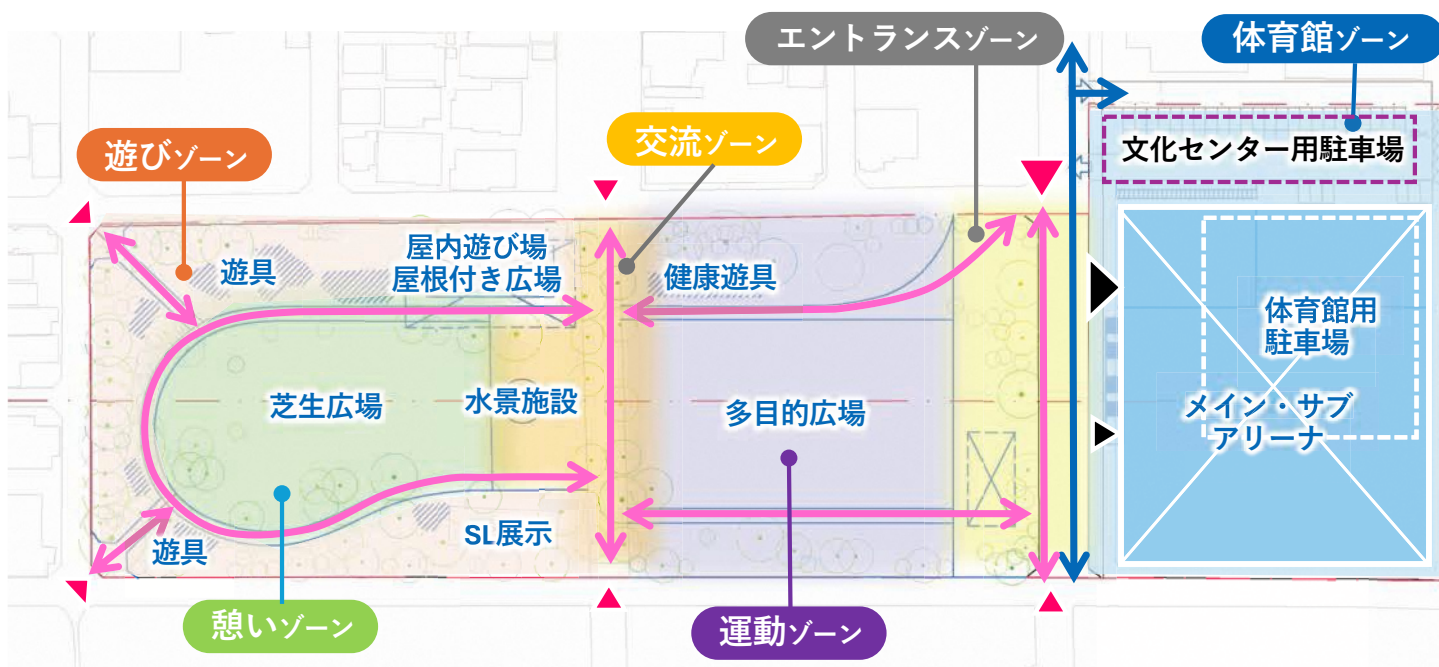
アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、2階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約1,300席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約15,000㎡
体育館建設費	約120億円

【メリット】

- 公園のオープンスペースが最も広く確保でき、既存樹木もより多く保全できる
- 集約管理により、分棟型よりも維持管理コストを抑えられる
- 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい
- メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい
- 入り口から公園全体を見渡せ、開放的な景観を確保できる

【デメリット】

- メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる
- 工事中は既存体育館の利用が継続できない
- メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい
- 大会利用と市民利用は両立しづらい
- 建物が高くなり、日照面や圧迫感に懸念がある



▶ メイン入口 ▶ サブ入口 ▶ 建物メイン入口 ▶ 建物サブ入口 (2F) ↔ 歩行者 ↔ 車両



D. コストを抑えた案

C案の建物の1階部分の駐車場を公園側に配置することで、建物の高さを抑え、使いやすくすることでコストダウンを図った案。



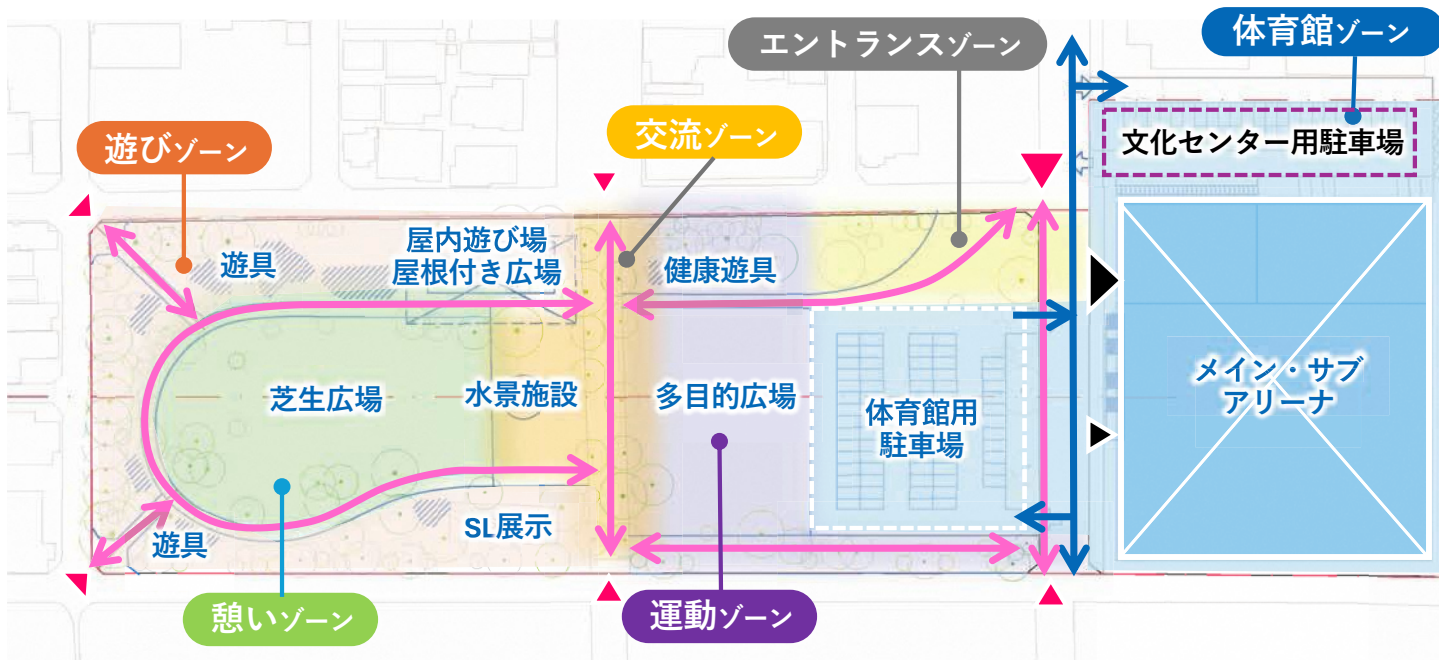
アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、1階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約1,300席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現荒川公園敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約13,500㎡
体育館建設費	約90億円

【メリット】

- 体育館整備費が最も抑えられ、運営しやすいので維持管理費も下がる
- 既存樹木をより多く保全できる
- 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい
- 建物の高さを抑えられるため、周囲への圧迫感を軽減できる


【デメリット】

- 公園のオープンスペースがやや少ない
- 工事中は既存体育館の利用が継続できない
- 公園側の駐車場と体育館の移動や搬出入が不便かつ自動車と歩行者の動線が交錯
- 大会利用と市民利用は両立しづらい
- 公園入口に駐車場が立地し景観性を損ねている



▶ メイン入口 ▶ サブ入口 ▶ 建物メイン入口 ▶ 建物サブ入口 ↔ 歩行者 ↔ 車両



	A案 体育館観客席充実案	B案 既存体育館利用継続案	C案 公園スペース充実案	D案 コストを抑えた案
公園イメージ				
アリーナ面数 メイン階	メイン3面+サブ1面 2階	メイン3面+サブ1面 1階	メイン3面+サブ1面 2階	メイン3面+サブ1面 1階
観客席数	固定席約2,100席 仮設約1,800席	固定席約2,100席 仮設約1,800席	固定席約1,300席 仮設約1,800席	固定席約1,300席 仮設約1,800席
駐車場台数	70台	70台	70台	70台
公園オープン スペース面積	約13,000㎡	約11,000㎡	約15,000㎡	約13,500㎡
体育館建設費	約140億円	約100億円	約120億円	約90億円
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい 体育館と公園利用の連携がしやすい メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 既存体育館の利用を継続しながら整備可能 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい 体育館と公園利用の連携がしやすい 建物入口付近に滞留空間を確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> 公園のオープンスペースが最も広く確保でき、既存樹木もより多く保全できる 集約管理により、分棟型よりも維持管理コストを抑えられる 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい 入り口から公園全体を見渡せ、開放的な景観を確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館整備費が最も抑えられ、運営しやすいので維持管理費も下がる 既存樹木をより多く保全できる 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい 建物の高さを抑えられるため、周囲への圧迫感を軽減できる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる 公園のオープンスペースがやや少なく既存樹の一部を伐採 工事中は既存体育館の利用を継続できない メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい 分棟のため施設間の移動や搬出入が不便 メイン・サブの一体利用がしにくい 分棟のため、維持管理コストがかかる 公園側に建築が立地し圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる 	<ul style="list-style-type: none"> 公園のオープンスペースが最も小さくなり、既存樹の伐採も多い 分棟のため施設間の移動や搬出入が不便 メイン・サブの一体利用がしにくい 分棟のため、維持管理コストがかかる 公園側に建築が立地し、圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる 	<ul style="list-style-type: none"> メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる 工事中は既存体育館の利用が継続できない メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい 大会利用と市民利用は両立しづらい 建物が高くなり、日照面や圧迫感に懸念がある 	<ul style="list-style-type: none"> 公園のオープンスペースがやや少ない 工事中は既存体育館の利用継続ができない 公園側の駐車場と体育館の移動や搬出入が不便かつ自動車と歩行者の動線が交錯 大会利用と市民利用は両立しづらい 公園入口に駐車場が立地し景観性を損ねている

(参考) 過年度のモデルプラン



2. モデルプランの検討 - プレサウンディング調査

体育館や都市公園に関わった経験を持つ民間事業者から意見を聞きました。

①体育館のモデルプランへの主な意見

	メリット	デメリット
A案 体育館 観客席 充実案	<ul style="list-style-type: none"> メイン・サブアリーナで<u>興行と市民利用を両立しやすい</u>。 公園側の施設を使って<u>公園と連携しやすい</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 一体型より<u>整備・維持運営ともにコスト増</u>。 分棟のため<u>利用者・搬入出ともに不便</u>。<u>道路の乱横断</u>も懸念。 メイン・サブアリーナ<u>一体利用はしにくい</u>。 <u>公園の面積が減少</u>する。
B案 既存 体育館 利用継続 案	<ul style="list-style-type: none"> <u>既存体育館の利用を継続しながら整備できる</u>。 <u>駐車・交通動線は整理しやすい</u>。 メイン・サブアリーナで<u>興行と市民利用を両立しやすい</u>。 公園側の施設を使って<u>公園と連携しやすい</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 一体型より<u>整備・維持運営ともにコスト増</u>。 分棟のため<u>利用者・搬入出ともに不便</u>。<u>道路の乱横断</u>も懸念。 メイン・サブアリーナ<u>一体利用はしにくい</u>。 <u>公園の面積が減少</u>する。 <u>敷地北側への影響</u>（騒音・振動、圧迫感等）を懸念。
C案 公園 スペース 充実案	<ul style="list-style-type: none"> 運営しやすく、<u>維持運営コストも下がる</u>。 <u>利用者動線が分かりやすい</u>。ただし縦動線は要工夫。 <u>公園への影響が最も少ない</u>。 <u>浸水時も安全に避難</u>できる。 	<ul style="list-style-type: none"> メインアリーナ <u>2階・下部に駐車場だとコストは増える</u>。 <u>工期は長くなる</u>可能性。 <u>興行利用と市民利用は両立しづらい</u>。 搬入出・可動席運営が煩雑で<u>イベント利用が減る恐れ</u>。 建物が高くなり、<u>日照面や圧迫感は懸念</u>。 <u>避難時の縦動線</u>は要工夫。また、メインアリーナが2階なため<u>物資拠点にはならない可能性</u>。
D案 コストを 抑えた案	<ul style="list-style-type: none"> <u>分棟型より整備コストは下がる</u>。<u>最もコスト低い可能性</u>。 運営しやすく、<u>維持運営コストも下がる</u>。 <u>利用者動線が最も分かりやすい</u>。 <u>公園利用者が駐車場を利用しやすくなる</u>効果はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中は<u>利用継続できない</u>。<u>公園側に工事ヤードが必要</u>。 延床面積が小さく、<u>後から諸室不足となるリスク</u>はある。 公園側に駐車場が必要となり<u>公園への影響、道路乱横断や搬入出</u>が課題。

2. モデルプランの検討 - プレサウンディング調査 (続き)

②必要と考える観客席数の規模

- 観客席数3,000~4,000席について、概ね妥当との意見が多くありました。

意見

- アマチュアレベルの全国大会であれば、3,000~4,000席あれば足りる (5,000席程度が望ましいとの意見も一部あり)
- プロ・興行利用を視野に入れる場合には4,000席以上が望ましい。
- 固定席を増やすと清掃等の維持運営負荷が上がり、満足度低下リスクもあるため可動席を組み合わせることが合理的。

③必要と考える駐車場台数の規模

- 現状や将来の利用率等を踏まえた検証が必要としつつ、市が想定する台数では不足するとの意見が多くありました。
- 一方、立地を生かし、公共交通機関の利用を前提とすることも考えられるとの意見がありました。

意見

- 平常時の一般利用においても、最低でも100台程度は必要。
- 大規模大会・イベント時は周辺の駐車場と連携する必要がある。ただ、既に駅利用者である程度埋まっているのでは。
- 大規模大会・イベント時を考慮すると、大型バスや大型トラック等が進入できる駐車場が必要。
- 駅から近い好立地のため、公共交通機関の利用を前提とすることは考えられる。

2. モデルプランの検討 - プレサウンディング調査 (続き)

②公園としての施設等のアイデア

主なアイデア

- ・ 休憩・カフェ・日陰など滞在性向上の場を整備する。
- ・ 大型遊具や屋内遊び場など、子ども・家族向けの遊び場を強化する。
- ・ 屋外コートやランニング路などのスポーツ・健康機能を充実させる。
- ・ イベント広場やキッチンカー対応設備で公園の賑わいを作る。

③荒川緑地との連携に関するアイデア

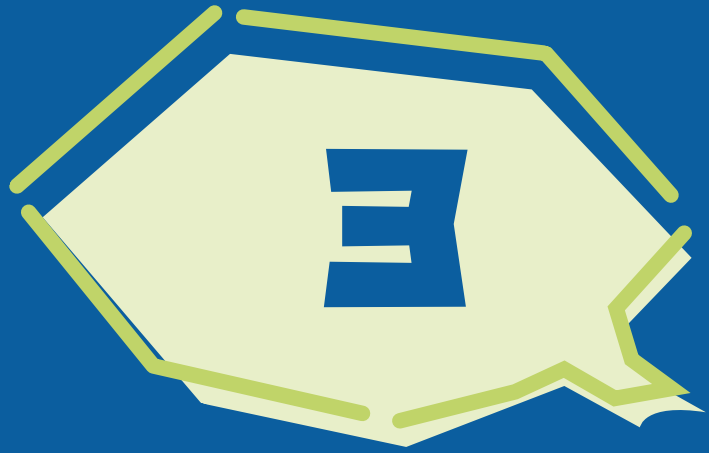
主なアイデア

- ・ ランニング・サイクリング利用者向けの更衣・シャワー等をアリーナに設ける。
- ・ スポーツ体験・環境イベント・フードイベントを緑地と共同で開催する。
- ・ トイレ・休憩所などアリーナの設備を緑地利用者にも開放する。
- ・ 緑地を一次避難、アリーナを避難所とする防災連携を強化する。

③環境負荷を下げ、防災・減災のための施設とするための方策

主なアイデア

- ・ ZEB Ready は概ね可能だが、Nearly ZEB は大空間ゆえに難しくコスト増が大きい。
- ・ 太陽光・蓄電池、高効率空調、断熱強化などの省エネ設備導入が必要。
- ・ 浸水リスクに備え、設備室や避難機能を上階に置き、防災設備（非常電源・備蓄）を充実すべき。
- ・ 要求水準や防災・ZEBの仕様はコストに大きく影響するため、事前に明確化が必要。



グループワーク

グループワークの進め方

これから、検討状況説明を踏まえて、意見交換を行います。

1 自己紹介 10分

一人1分以内で、簡単に自己紹介しよう

- ・ お名前
- ・ 所属団体（あれば）
- ・ お住まいの地域

グループワークの進め方

2 シール貼り 5分

コンセプト案、モデル比較検討案について、
「良いね！」と思った案に「青シール」
「気になる」と思った案に「赤シール」
を3枚ずつ貼ります。

※各案の人気投票ではなく、各案それぞれの
良いところ、気になるところを可視化する作業です。

グループワークの進め方

ヨ シールが貼られた箇所の確認

25分

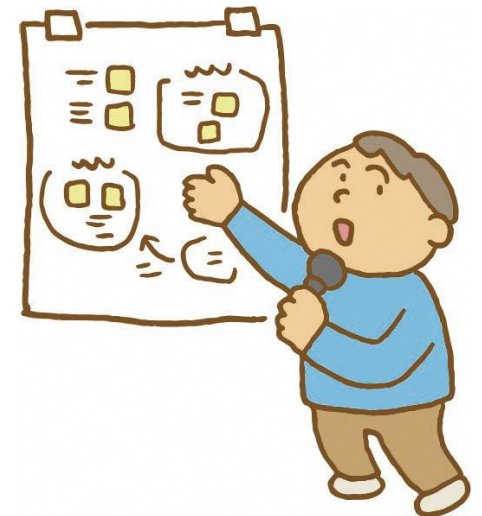
シールを貼ったところについて、
貼った理由、アイデアや意見などについて
ファシリテーターが聞き取ります

グループワークの進め方

4 今後の計画の方向性について意見交換



シール貼りや確認を踏まえて、
今後の計画の方向性について意見交換します。



グループワーク スタート！



発表・まとめ

発表

1グループ3分以内で共有しよう!

まとめ

事務連絡

「体育館・公園再整備とまちの関係を考える分科会」

- 参加者募集のお知らせ -

市は再整備により「荒川公園周辺エリアのにぎわい創出」を目指していますが、「にぎわい」と自分たちとの関係がよくわからないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、本ワークショップの分科会として、地域経済の視点から“再整備とまちの関係性”について一緒に考える場を設けることといたしました。ご参加ぜひお待ちしております。

【開催概要】

日時 第1回 4/18(土)14:00～16:00
第2回 6/7(日) 14:00～16:00
場所 ハートピア
講師 総務省 地域力創造アドバイザー
堀 哲郎 氏

* 詳細はお手元資料をご覧ください。

●お申込み

別紙「参加申込書」を次回ワークショップまでにご提出ください。

第3回ワークショップ (3/28)

空間イメージの共有

ワークショップで意見が出た
体育館・公園の使い方を想定

第1回分科会 (4/18) 講演+質疑

再整備が地域経済に与える影響を講師とともに紐解きます。

第2回分科会 (6/7) 参加型ワーク+意見交換

再整備がもたらす身近な暮らしの変化を一緒に考えます。

「地域経済」の視点も踏まえ、
再整備後のかかわり方の意見交換へ

第4回ワークショップ (7/4)

再整備計画素案の共有、今後の進め方や再整備後のかかわり方について意見交換

説明会のご案内

今回のワークショップを含む、市民参加での基本計画の検討状況を市民の皆さまに説明するため、別途説明会を開催予定です。

[開催概要]

日時：3月8日（日） 15:00～16:30

場所：熊谷市立商工会館 2階大ホール

次第（予定）：

1. 開会・挨拶 15:00～15:10
2. 説明・質疑応答 15:10～16:20
 - (1) 基本計画策定に向けた経過について
 - (2) 質疑応答
3. 今後のスケジュール 16:20～16:25
4. 閉会 16:25～16:30

●お申込み

- ・案内：2月市報、2月1日に市HPに掲載
- ・定員：100人（先着）
- ・期間：2月12日(木)～2月27日(金)
- ・方法：電子申請又はスポーツタウン推進課に電話（048-524-1111・内線349）



ご参加いただき、
ありがとうございました！

次回のご案内

日時 | 2026年3月28日 (土) 14:00~17:00

場所 | 男女共同参画センター「ハートピア」会議室